第9回　気象サイエンスカフェ in 九州

申し込みが必要です

まだ空席あります

「線状降水帯」の正体に迫る

ー 平成29年九州北部豪雨から見えてくるもの ー

2017年10月22日（日）

13:45〜15:30　（受付：13:30〜）

会場：TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター901号室
（博多駅筑紫口から徒歩3分　ユーコービル9階）

参加費　300円（ドリンク代）

定員　30名（下の要領でお申し込みください）

主催　日本気象学会九州支部（tel 092-725-3614）
福岡管区気象台
日本気象予報士会西部支部

ゲスト：川野哲也さん

九州大学大学院理学研究院
地球惑星科学部門　助教

案内人：栗原めぐみさん

気象予報士
RKK熊本放送
気象キャスター

- 暖候期，特に梅雨期に毎年のように日本各地で集中豪雨が発生する。本年7月5日から6日かけて福岡県と大分県を中心とした九州北部地方に甚大な被害を引き起こした平成29年7月九州北部豪雨は記憶に新しい。
- このような集中豪雨をもたらす現象として「線状降水帯」という言葉が近年マスコミなどでも使われるようになってきたが，平成29年7月九州北部豪雨もこの線状降水帯によってもたらされたことが指摘されている。
- 線状降水帯という言葉は2014年8月の広島豪雨以降に頻繁に用いられるようになったようである（津口　2016）が，現時点では線状降水帯の厳密な定義はない。文字通り「線状になった降水域」ではあるが，その中でも特に「同じ場所に長時間停滞し，局所的に大雨をもたらす降水域」のことを指している。
- 今回の気象サイエンスカフェでは，このような線状降水帯の形態と発生環境場についての最新の知見を紹介しながら，集中豪雨をもたらす線状降水帯の正体に迫りたい。

申し込み方法　（定員になり次第、受付終了）

詳しくはこちら　http://msj-kyushu.jp/

日本気象学会九州支部事務局（福岡管区気象台 防災調査課）へ
メールまたはFAXで参加者全員のご氏名、代表者連絡先（電話番号orメールアドレス）、差し支えなければ所属をお知らせください。

メール　info@msj-kyushu.jp　　FAX　092-725-3163

第 9 回気象サイエンスカフェ in 九州の申し込み方法

メールまたは FAX で以下の事項についてご連絡ください。
（これらが利用できない場合には電話でも結構ですが、担当者が在席していないこともありますのでご了承ください。）

①参加希望者のお名前
・グループの場合は全員のお名前（代表者がわかるようにしてください）
②連絡先
・メールでお申し込みの場合で連絡先が送信したメールアドレスと異なる場合は当方からの連絡先として利用可能なメールアドレスをお知らせください。
・グループの場合は、参加者全員のメールアドレスもお願いします。
・FAX でお申し込みの場合はメールアドレス（利用可能な場合）、FAX 番号および電話番号（携帯電話可）をお知らせください。
・連絡先は荒天等により中止･変更する際の緊急連絡に使用するほか、今後のイベント等のご案内に使用することがあります。メールは一斉送信する際には BCC で送信します。
③差し支えなければ所属（会社、学校、団体）、ご職業など
④ご希望されるドリンク
・コーヒーを準備しますが、コーヒーが苦手の方にはお茶（ペットボトル）を準備します。＜コーヒー･お茶･不要＞のいずれかをお知らせください。
・参加費としてドリンク代のみご負担をお願いします。

➢定員に達するまで先着順に受け付けます。定員に達した場合は参加をお断りすることがあります。~~会場準備の都合上、10 月 17 日（火）~~ までにお申し込みください。　10 月 19 日（木）まで延長します
➢参加の可否については、できるだけ速やかにお知らせしますが、週末にかかった場合など時間を要することがありますので、ご了承ください。
➢会場は博多駅から至近にありますが、ビルの入口が若干わかりにくいため、参加可能のご連絡をする際に、少し詳細な道順を書いた資料をお送りします。
➢会場には専用駐車場がありません。お車でお越しの場合は、周辺の有料駐車場をご利用ください。

日本気象学会九州支部事務局　（福岡管区気象台防災調査課内）
e-mail : info@msj-kyushu.jp　(@は半角文字に置き換えてください)
FAX：　092-725-3163　電話：　092-725-3614